



# AQUA NEWS

By MMCPlanning

No.4  
2016 SUMMER

## かわいい!小型ヤッコの飼育～入門編～ バリエーションの妙・マメスナギンチャクの仲間





# Red Sea MAX<sup>®</sup> E-Series

コンプリート プラグ&プレイ<sup>®</sup> オープントップリーフアクアリウム



# Red Sea REEFER<sup>™</sup>

リーフアクアリウムを追及するための多機能水槽システム

着脱式スリット付き  
サーフェスキマー

静音性の高い  
調節式ダウンフローシステム

一体型の自動給水装置

微細な汚れを吸着する  
ミクロンフィルター

エッジを斜め加工した  
リムレスデザインの水槽

多方向に向けられる  
戻り水の吐出口

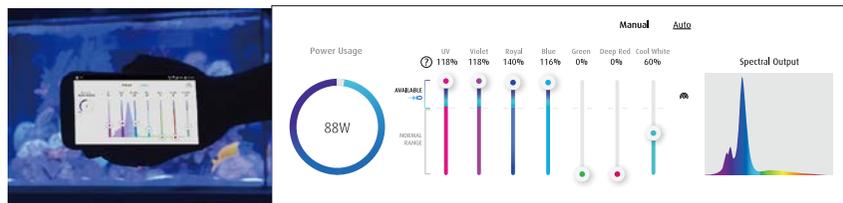
ウルトラクリアーガラス  
を採用

緊急用オーバーフローパイプ

水位を一定に保つので便利  
スキマーやリアクターなどの  
多目的区画



ウルトラクリアーガラス (ガラス厚 12 mm)



Wi-Fi 内蔵、先進のLEDライティングシステム



極厚スーパークリアガラス採用  
たわみも無く、超クリアな視界



サーフェスキマー装備  
油膜を除去し、水面のガス交換を促進



MSK900 プロフェッショナルプロテインスキマー



一体型パワーセンター



自動給水装置搭載  
自然に蒸発する水を自動的に補給



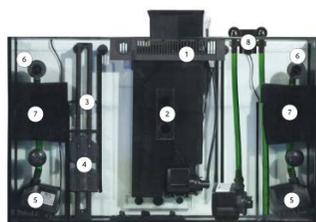
サイレントオーバーフローシステム  
オーバーフロー音を激減させた静かなシステム



スライド式フィルターバッグ

## MAX<sup>®</sup> E-260 Filtration System

1. 着脱式サーフェスキマー
2. プロテインスキマー
3. メディアラック
4. 活性炭
5. 循環ポンプ
6. 吐出ノズル
7. フィルタースポンジ
8. アクセサリーキット



リアサブシステム

※写真はMAX-E260のタイプ、クーラー用ポンプは別売り



カラーチョイス: Black & White

REEFERシリーズには、ウルトラクリアーガラスを採用したリムレス水槽とスタイリッシュなキャビネット、自動給水システム付きのプロフェッショナルサブや独自のサイレント・ダウンフローシステムが搭載されている包括的な水管理システムが近代的に融合されています。

ご自身で選択した機器はREEFERの進化したサブと水管理システムに無理なく組み込めるので、自分仕様のアクアリウム体験とコーラルリーフを楽しむことができます。

Color Choice:



ホワイト

ブラック



<http://www.redseafish.com/ja/>  
レッドシーのメーカーオリジナルHPで詳細をチェック! →



# 天日干し製法

# RED SEA SALTS

- すべての粒にサンゴ礁が息づいています -



紅海からのきれいな海水はいくつかの塩田に引き込まれ、砂漠の暑い太陽のもと、自然の天日干し工程に入ります。

最初の塩田で、海水はカルシウムや重金属を排出しながら蒸発し、元の40pptから約250pptの濃度になります。続く塩田では、マグネシウムやカリウムなどのイオンを濃縮された塩水に残しながら、塩化ナトリウムの結晶を形成します。

天日干しの最後の工程では残った塩水が排出され、原料となる塩化ナトリウムの結晶を収集し、有機物や他の汚染物質を取り除くために洗浄して乾燥させます。

この過程を経て、紅海に存在する他の47種の元素が含まれる自然で純粋な食用にも適する塩化ナトリウムの結晶となります。

この元素を豊富に含んだ塩化ナトリウムが、レッドシー社の人工海水の基本成分となります。化学と自然が融合し、全ての塩粒にサンゴ礁の海水そのものが含まれるのです。

レッドシーソルトの72%以上を構成している原塩には中間および微量元素が自然の海水と同様に含まれています。

これにより、人工的にはほぼ不可能とされる常に一定レベルの品質と均一性を実現しています。

製造工程の最後ではカルシウム・マグネシウム・カリウムや他の元素が加えられます。これは小ロットずつの厳しい品質管理の基に行われています。

過剰なレベルの重金属は含まれていませんので、プロテインスキマーの機能に悪い影響を与えるEDTAなどの化学結合剤も含まれていません。

レッドシーソルト 10L用/60L用/120L用/210L用/300L用/660L用 コーラルプロソルト 210L用/660L用

レッドシーソルトのムービーをチェック! →



# The Reef Care Program

リーフケアプログラム

A complete solution for optimal coral health, accelerated growth & enhanced coral coloration



## Reef Foundation Program

リーフファンデーションプログラム

サンゴの骨格形成に重要な基礎成分 (Ca, KH, Mg) を補給

### 添加剤

リーフファンデーション A/B/C 250ml, 500ml  
リーフファンデーション A/B/C パウダー 1kg  
リーフファンデーション ABC+ パウダー 1kg, 5kg

### テストキット

リーフファンデーションプロテストキット  
※カルシウム/アルカリニチイ (KH)/マグネシウムの3種セット  
カルシウムプロテストキット  
KH/アルカリニチイプロテストキット  
マグネシウムプロテストキット



## Algae Management Program

アルジーマネージメントプログラム

藻類の発生やサンゴの色揚げを阻害する栄養素をコントロール

### 添加剤

NO<sub>3</sub>:PO<sub>4</sub>-X 100ml, 500ml, 1000ml

### テストキット

アルジーコントロールテストキット  
※硝酸塩/リン酸塩の2種セット  
硝酸塩プロテストキット  
リン酸塩プロテストキット



## Coral Coloration Program

コーラルカラープログラム

サンゴの色彩を向上させる、4種類の添加剤

### 添加剤

コーラルカラー A/B/C/D 500ml  
コーラルカラー ABCDパック (各100ml入り)

### テストキット

コーラルカラープロテストキット  
※アイオディン (ヨウ素)/ポタシウム (カリウム)/鉄の3種セット  
アイオディンプロテストキット  
ポタシウムプロテストキット



## Coral Nutrition Program

コーラルニュートリションプログラム

サンゴの生命維持に欠かせない2種類の栄養素

### 添加剤

リーフエナジー A&Bパック (各100ml入り)  
リーフエナジー A/B 500ml



[http://www.mmclanning.com/item/red-sea\\_marine/rcp/](http://www.mmclanning.com/item/red-sea_marine/rcp/)

RCP解説ムービーをチェック! →





かわいい！

# 小型ヤッコの 飼育 入門編

ピグミーエンゼルフィッシュの仲間たち

海水魚水槽の人気者といえば、小型ヤッコの仲間。

小型ヤッコとは*Centropyge*属や*Paracentropyge*属を含むキンチャクダイ科の海水魚のことである。

では、なぜ小型ヤッコの人気が高いのだろうか。

それには、飼育してみればわかるいくつかの理由がある。

## 小型ヤッコの魅力

### その1

#### キビキビとした 躍動感のある泳ぎ

小型ヤッコの仲間は活発で躍動感のある泳ぎを見せる。狭い水槽内では、小回りを効かせながら愛嬌を振りまくので、その泳ぎは見ている飽きない。

### その3

#### いろいろな種がいて、 個性豊か

小型ヤッコの仲間は2属約37種が知られている。それぞれの体色模様は個性的で、好みの1匹を見つけることができるだろう。

### その2

#### ちょうどいい大きさ

流通する小型ヤッコの仲間は、全長5cm前後の個体が多い。このサイズであれば、60cmクラスの水槽なら飼育は十分に可能である。ただし、長期飼育では10cmくらいに成長する種もある。



鮮やかな体色のレモンピー  
ルは小型ヤッコの人気種だ

### その4

#### 丈夫で長生き

小型ヤッコの仲間は、上手に飼育していれば10年以上長生きする魚である。いわば、ペットとして長い付き合いができる魚なのである。

今回は初級編ということで、入手性の高いポピュラーな種を中心に、その飼育法について考えていこう。

# 小型ヤッコの基礎知識

## タイプ別特徴

小型ヤッコは大きく3つのグループに分けることができ、それぞれに特徴を持っている。



### ケントロピーゲ属クシビポプス亜属

チャイロヤッコやフレームエンゼル、ルリヤッコなど、雑食性が強く、もっとも飼育しやすいグループ。



### ケントロピーゲ属ケントロピーゲ亜属

ソメワケヤッコやナメラヤッコ、レモンピールなど、浅場のサンゴ礁に分布するグループ。プランクトン食性が強く、サンゴの表皮を突つくこともある。やや偏食ぎみの個体が多い。



### パラケントロピーゲ属

スミレヤッコ、シマヤッコ、ペパーミントエンゼルの3種を含むおとなしいグループ。静かな環境を好む。

以上の3グループは、分類上のカテゴリーではあるが、飼育のための大まかな目安になるので知識として覚えておきたい。

## 飼育の準備

小型ヤッコを飼育するためには、最低でも60cm規格水槽クラス的水槽が好ましい。これよりも容量の少ない水槽だと、窮屈で魚がかわいそうだし、何よりも水質や水温などの安定感を欠くので、頻繁にメンテナンスしなければならなくなる。

照明は観賞に支障がない明るさが確保できれば十分。ただし、もし水槽でサンゴ類と一緒に飼育するのであれば、サンゴ飼育に適した照明が必要になる。ここで注意したいのが、小型ヤッコの中にはあまり明るい環境を好まない種もいるということ。また、サンゴのポリプを突つく種もいるので、小型ヤッコとサンゴと一緒に飼育する場合には、それぞれの適合性をしっかりと考える必要があるだろ

う。まずは、サンゴ水槽での飼育は避けて、できるだけシンプルに飼育した方が無難であろう。

飼育システムは、水量に余裕があれば何でもよいだろう。ろ過槽のあるシステムでも、プロテインスキマーを使ったベルリンシステムでも飼育は可能だ。ただし、海水の黄ばみやpH値の低下を見ながら換水はしなければならない。水槽ごとに換水頻度も異なるので、自分の水槽に合ったメンテナンスサイクルを掴んでおこう。

さらに、水槽の海水温が夏場でも28℃以上になるようであれば、水槽用クーラーなどの設置も考えなければならない。飼育する魚にもよるが、水温を24～25℃に安定させるのが長期飼育のポイントになる。

安定したサンゴ水槽で調子よく飼育されるチェルプフィッシュとブラックキャップバスレット



## 購入のポイント

飼育水槽の準備ができれば、小型ヤッコを買いに行こう。すでに、飼育したい小型ヤッコの種類が決まっているのなら、あとは元気な個体を見つけるだけだ。小型ヤッコを選ぶ際には、餌付いている個体が入手できれば手取り早いのだが、そうでない場合には次のポイントに該当する個体を選ぶと良い。

- 岩やガラスの表面を突つく仕草をしている。
- 背部や腹部が痩せていなく、体色の色ツヤがいい。
- 眼球の表面が白濁していない。
- 左右の胸ビレをよく動かしている。
- 白点病にかかっている。
- 吻先がすりむけていない。
- 同じ水槽に病気の魚がいない。
- 口を開けたままゆっくり泳いでいない。

専門ショップでは基本的にしっかりトリートメントされた個体がストックされているが、念のためチェックしておくとともに安心だろう。



ペンテコモンエビにクリーニングされるスミレヤッコ。魚の病気予防のためにクリーニングシュリンプを同居させるのは有効だ

## 病気になりやすい環境

小型ヤッコに限らず、白点病などの病気が発生しやすい水槽は、キュアリング(あらかじめ腐敗物を落としておくこと)が不十分なライブロックを使用していたり、他に病気の魚がいる、あるいは死んで放置してある魚がいる場合が多い。また、無理な混泳によってストレスを抱えた魚がいると、その魚は病気になりやすい。これらの要因をクリアできていれば、小型ヤッコが調子を崩す可能性はかなり低くなるはずだ。

また、病気ではないがハダムシ症にも注意が必要だ。ハダムシに寄生されると体力が低下し、末期になると眼球にも寄生が進み、放置しておくとう失明してしまう。寄生初期には胸ビレの根元に寄生していることが多く、魚の胸ビレの動きが悪くなるので、購入時にはよく観察することが大切だ。もし、ハダムシに寄生されていることが確認できれば、3～5分間の淡水浴をして、ハダムシを駆除しなければならない。



入荷したてのシマヤッコは、体がやや痩せている。調子があまりよくないときは、ホワイトソックスにクリーニングを求めることが多い

## 小型ヤッコの入門種



**ナメラヤッコ**

体色はやや地味な小型ヤッコだが、輸入量が多く入手性がよい。価格も安価なので、入門種としておすすめ。丸々と太らせるとかわいい



**アブラヤッコ**

英名キーホールエンゼル。鍵穴のような白斑が体側中央にあるのが特徴だ。サンゴ礁が発達した海に生息するが、サンゴ水槽に入れるとサンゴを突つくので、おすすめできない



**オハグロヤッコ**

英名ミッドナイトエンゼルと呼ばれるように、全身真っ黒な小型ヤッコ。サンゴ礁のように入り組んだ環境では、この体色が実に目立ちにくい。やや神経質な性格で、飼育には静かな環境が必要だ



**ヘラルドコガネヤッコ**

全身黄色の小型ヤッコ。浅いサンゴ礁に生息する。調子のいいサンゴ水槽に入れると本当に美しい



**エイブリーエンゼル**

インドネシアを代表する小型ヤッコ。体側には不規則なオレンジ色のラインが入る。ナメラヤッコとの間にハイブリッドが多く、模様は個体差が激しい



**ソメワケヤッコ**

黄色と藍色に塗り分けられた体色が印象的な種。入門種ながら大変魅力的でおすすめ。入荷直後は若干神経質で餌付けには時間がかかることもあるので、調子のいい個体を見つけよう



### アカハラヤッコ

沖縄からフィリピンにかけて生息するポピュラー種。体側には筋状、破線状の不規則な模様が入る。サンゴとの相性はいいが、照明で日焼けしやすいので、やや暗めの水槽で飼育するとよい



### ルリヤッコ

深みのあるメタリックブルーの小型ヤッコ。腹部はオレンジ色だが、個体差が激しくその体色は一定ではない。好みの個体を見つける楽しみがあるだろう。丈夫で飼育しやすい



### チャイロヤッコ

丸く小さい個体は、スズメダイのよう。地味ながらオスはメタリックブルーに色上がりする。気が強く、大型魚との混泳も可能なほど丈夫な魚である



### フレームエンゼル

色鮮やかな体色の人気種。大変丈夫で飼育しやすいが、この体色を維持するのがなかなか大変。やや暗い水槽で飼育し、色上げ用の餌を豊富に与えるようにしよう



### スミレヤッコ

沖縄からフィリピンに分布する人気種。入荷したてはやや神経質で、餌付けに時間がかかることも。静かな環境でしっかりと餌付けるのも飼育の醍醐味だ



### シマヤッコ

スミレヤッコ同様、おとなしい種で静かな環境を好む。自然下ではドロップオフのやや深い壁の横穴などを棲み家に行っていることが多い

環境に慣れると積極的に餌を食べようになる小型ヤッコたち。口は小さいので、はじめは細かい餌から与えてみるのがポイントだ



## 餌付けの方法

小型ヤッコの仲間は口が小さいため、一度にたくさんの餌を食べることができない。したがって、常に小さな餌を探し求めている。水槽にやって来て最初に食べる餌も、粒が細かい人工飼料であったり、冷凍飼料などの小さい餌である。早期に餌付けるコツとしては、できるだけ魚をリラックスさせることだ。そのためには、迎え入れる水槽に岩や塩ビ管などでちょっとした隠れ場所を作ってあげよう。臆病な個体は隠れたらなかなか出て来ないが、他に泳ぎ回っている魚がいるとつられて出てくる場合も多い。その魚が威張っていて小型ヤッコを威嚇するようではよろしくないが、ハタタテハゼやコガネキュウセンなどおとなしい魚種であれば好都合だ。

小型ヤッコに与える餌としては、沈水性のタブレットフードが有利であるが、慣れてくるとフレークタイプでも水面まで食べに来る。粒が小さいことに加えて柔らかさも、好まれる餌の大切な要素だ。指で軽く揉んで崩れるくらいの硬さがちょうどいい。餌が硬すぎると腸閉塞やフン詰まりを起こすこともあるので注意したい。

一度に与える餌の量は、食べ残しが出ない程度が基本。1日に与える量は、食べていれば何度でも与えてよいが、通常は1～2回くらいだろう。また、人工飼料は開封後は半年くらいで使い切るようにし、時間が経って酸化した餌は与えない方がよい。



トランペットコーラルのポリプを食いちぎるナメラヤッコ。ケントロピーゲ亜属の小型ヤッコはLPSと一緒にしない方がよい



ヒュサンゴの共肉を突つつくスミレヤッコ。サンゴは突つつかれることがストレスになり徐々に衰弱していってしまう



広いサンゴ水槽であれば、小型ヤッコ1匹くらいは伸び伸びと飼育できる。小型ヤッコだけの飼育であれば、さらに簡単な設備での飼育も可能だ

## サンゴ水槽での飼育

小型ヤッコをサンゴ水槽で飼育するスタイルは海水水槽の定番ではあるが、水槽やサンゴによっては小型ヤッコの存在がストレスになることもある。基本的に浅場に生息するレモンピールやヘラルド、ナメラ、アブラをはじめとするケントロピーゲ亜属は、サンゴのポリプを突っつく習性が強いので、狭いサンゴ水槽やサンゴ重視の水槽には入れない方がよいだろう。特にキクメイシやヒユサンゴ(オオバナサンゴ)など、LPSの共肉やポリプが被害に遭いやすい。もし、ケントロピーゲ亜属の小型ヤッコをサンゴ水槽に入れるのであれば、LPSは控えるか、90cm以上の広さがあるサンゴの状態が安定した水槽に入れるのが好ましい。水槽が広ければ、多少サンゴが突っかれてもサンゴへのストレスが分散されるためである。ケントロピーゲ亜属は自然下では浅いサンゴ礁に生息しているので、魚にとっては理想的な環境になる。

一方のクシビボプス亜属に含まれるフレームエンゼルやルリヤッコ、チャイロヤッコ、フレームバックなどは、雑

食性なのでサンゴへの執着が少なく、サンゴへ与えるストレスは少ない。小型ヤッコとサンゴ類の飼育を両立させるのであれば、クシビボプス亜属の小型ヤッコの方が有利といえるだろう。反面、ミドリイシ水槽のような明るい水槽では、照明による日焼けが起こり魚の色維持が難しい場合が多いので、魚本位に考えるなら照度を控えめにした水槽を奨励する。

かわいい!

# 小型ヤッコの 飼育 入門編

NEW

Made in the UK



# vitalis

AQUATIC NUTRITION



魚を長期飼育するために考えられた  
ナチュラルプレミアムフード。



**MARINE PELLETS**

**XS** サイズ 60g  
直径1mm  
**S** サイズ 120g  
直径1.5mm

海水魚のためのプレミアムソフトフード  
日々の給餌に適した基本フード

**PLATINUM MARINE PELLETS**

**XS** サイズ 60g  
直径1mm  
**S** サイズ 120g  
直径1.5mm

海水魚のためのプレミアムソフトフード  
健康促進・病気への抵抗力を高める

**ALGAE PELLETS**

**XS** サイズ 60g  
直径1mm  
**S** サイズ 120g  
直径1.5mm

草食性海水魚のためのプレミアムソフトフード  
草食性海水魚に最適な海藻フード



**TROPICAL PELLETS** **XS** サイズ 60g  
直径1mm

全ての淡水性熱帯魚のためのプレミアムソフトフード



**SHRIMP PELLETS** **S+** サイズ 60g  
直径4mm

全ての淡水エビのためのソフトフード

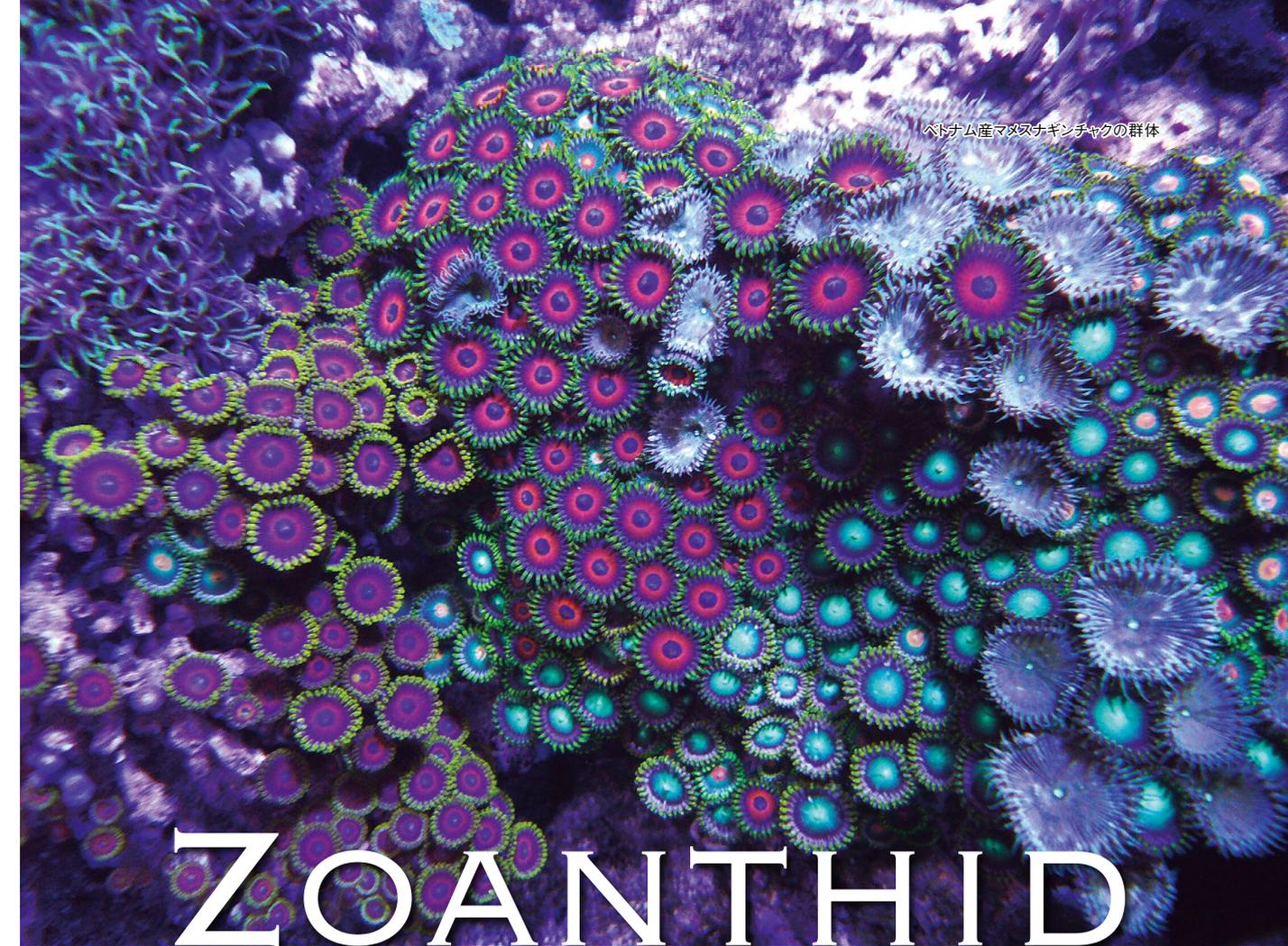
口の中で砕ける  
ソフトタイプ

高い消化率と  
生体吸収

フンが少なく  
水を汚しにくい

天然由来の  
原材料

免疫力が  
向上



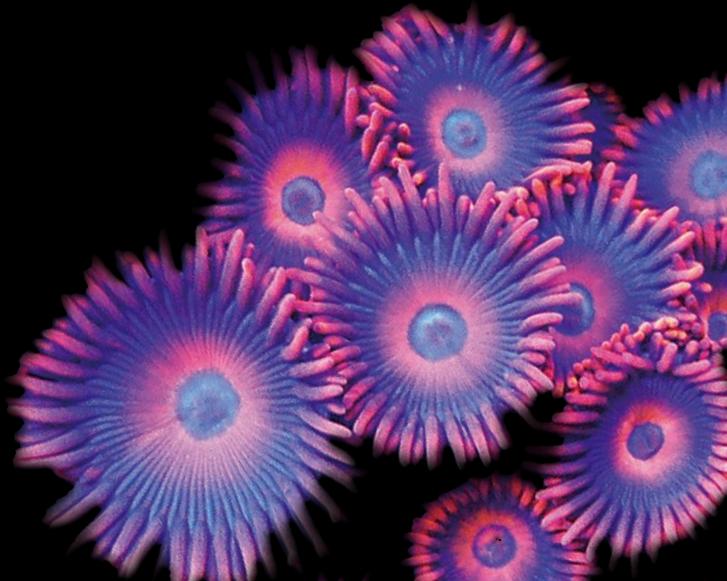
ベトナム産マメスナギンチャクの群体

# ZOANTHID

カラーバリエーションの妙

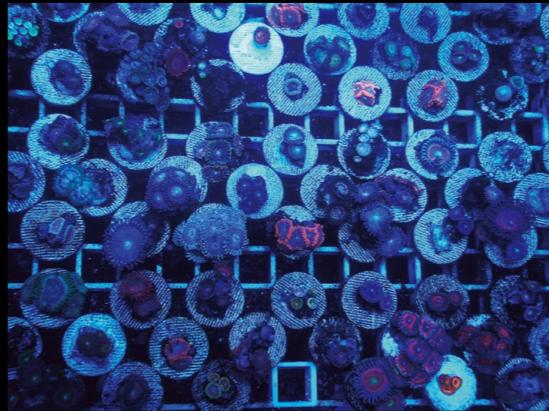
## マメスナギンチャクの仲間

マメスナギンチャクの仲間は、小さな個虫が密集した群体性の無脊椎動物である。ソフトコーラルというよりも、むしろイソギンチャクに近い生き物だ。密集した群体は幾何学模様のように美しい。ひとつの口盤の直径が1cm足らずのものから6~7cmのものまで、大きさは様々。自然下では例外もあるが、内湾の濁った浅場に群生していることが多い。





古くから飼育されている“ボタンポリプ”。ブルーの光をあてていると、蛍光グリーンに色上がりすることもある



珍しい色のマメスナギンチャクは、最近では個虫ごとにフラグにされることも多い。1個十数万円の高値が付くものもあるという



インドネシアでは、いろいろな種をひとつの岩に固着させたセットも作られている。相性のいいウミキノコやディスクコーラルのセットもある



3色が入ったマメスナギンチャク。口盤の大きさは1cmにも満たないが、いくつかまとまると幾何学模様のような美しさがある

## 飼育の準備

マメスナギンチャクの飼育はサンゴ類ほど難しくはない。しかし、増殖するほど状態良く飼育するためには、いくつかのポイントを押さえておきたい。そのポイントとしては以下のことが挙げられる。

### ●十分な照明をあてる

マメスナギンチャクの色を引き立たせるのはブルー系の波長だが、増殖を早めたり健康に育てるのであれば、広い波長域の照明が望ましい。なぜなら、光を受けて光合成をする褐虫藻を体内に共生させているためである。光が不足すると、足盤が間延びして成長し、群体がスカスカになってしまう。また、触手が萎縮して活性が下がってしまう。広い波長域を揃えたら、あとはそれぞれの発色に適したLEDでライトアップして、より派手に演出するもよし。メタルハライドランプやT5蛍光灯から発せられる若干の紫外線は、蛍光色の発色を良くするのにも有効だ。

### ●適度な水流

健康なマメスナギンチャクはデトリタスを多く排出するので、それらを排除し、触手を刺激するような適度な水流があたるようにする。

### ●適度な給餌

マメスナギンチャクの仲間は褐虫藻を共生させているために、光さえあれば給餌しなくても育てることはできる。しかし、給餌することでさらに増殖を促すこともできる。餌はマメスナギンチャクの口に入る大きさのものを用意する。



オーストラリア・ダーウィン産のマメスナギンチャク。産地によっても様々なカラーバリエーションがあるのも面白いところ

### ●水温は27℃以下であればOK

マメスナギンチャクの仲間は、サンゴ類に比べて高水温に対する耐久力があるが、他に入れる生体の兼ね合いもあるので、飼育水温は25～26℃で飼育したい。

### ●専食する巻き貝やウミウシの仲間には要注意

マメスナギンチャクを食害する貝やウミウシの仲間が、まれにマメスナギンチャクの群体に取り付いたまま水槽に侵入することがある。これらは夜行性で、夜間になるとマメスナを食い荒らし、大変厄介な存在である。そのため、マメスナを水槽に入れる際には、十分に検疫する必要がある。様子がおかしいと思ったら、消灯後しばらくしたら、ライトを使って水槽内を点検してみよう。

沖縄産のピンクのマメスナギンチャク。口盤は1cm前後とやや大きい。強めの光をあてていた方がキレイになる



### マメスナギンチャクへの給餌

マメスナギンチャクへは、週1回程度給餌すると、さらに増殖が促進される。給餌する餌はマメスナギンチャクの口に合わせてもので、給餌の際には海水に浸した餌をスポイトで吸って、そっと触手に吹きかける。小さい口盤の群体に与える餌は粉末状のものになるので、給餌の際は水流を止めるなどの工夫が必要だ。

この餌がおすすめ



LPS GROW+COLOR



NANO REEF-ROIDS



FAUNA MARINE LPS GROW+COLORをスポイトでそっと口盤に振りかけるコップに入れた海水に入れ、柔らかくする



健康な個虫は反応よく口盤を萎ませ、餌を体内に取り込む



サンゾアンシッドは、口盤の直径が7cm近くになる大型のマメスナギンチャク。この群体は3個虫から7個虫に増殖中



# Bubble Rush

バブルラッシュ

オルカスキマーがリニューアルして  
さらに使いやすく！

イージーゲートバルブを採用、  
さらなる省スペース化を実現。



Point!

ポンプを本体内に収納・  
イージーゲートバルブにより  
排水パイプもなく、  
省スペース化を実現



Point!

泡の動きを安定させる  
独自形状のバブルプレート



SICCE®

イタリア製高品質ポンプ  
SICCEを採用



made in Italy

ORCA  
EXCEL SUMP SP



設置例  
(オルカ T90 エクセルサンプ SP セット)

商品名	使用ポンプ	サイズ(W×D×H)mm	対応水量
Bubble Rush BR-02	SK-200	190×170×440	100~400L
Bubble Rush BR-03	PSK-600	250×225×535	600~1000L
Bubble Rush BR-04	PSK-1000	280×250×570	800~1300L
Bubble Rush BR-06	PSK-600×2	300×280×580	800~2000L

LED Lighting System

# Aqua Sanrise Plus

アクアサンライズプラス

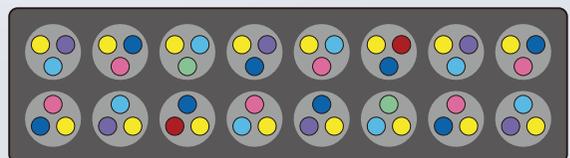
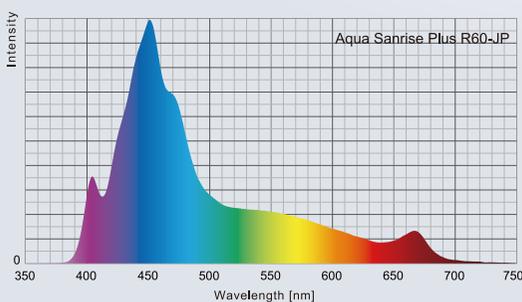


LPSからSPSまで幅広く対応する  
スタイリッシュなLEDライトが登場。

- ・Wifiコントロールシステム
- ・本体タッチパネルでも操作可能
- ・厚さ31mmのスリムボディ
- ・スタンディングと吊り下げの2way方式

\*写真はAqua Sanrise Plus R60-JP

モデル	Aqua Sanrise Plus R30-JP	Aqua Sanrise Plus R45-JP	Aqua Sanrise Plus R60-JP	Aqua Sanrise Plus R90-JP
サイズ (W×D×H)	235×205×31mm	460×205×31mm	560×205×31mm	860×205×31mm
LEDチップ数量	18個	36個	48個	72個
最大消費電力	78W	132W	176W	264W
重量	2.4kg	4kg	4.9kg	7.5kg
アームスタンド使用時 対象水槽サイズ*	30~60cm	45~75cm	60~90cm	90~120cm



\*Aqua Sanrise Plus R60-JPの場合

CH.A : ● White 6000K-7000K

CH.B : ● Blue 470nm + ● Royal Blue 450nm

CH.C : ● Violet 420nm

CH.D : ● UV 400nm

CH.E : ● Deep Red 660nm

CH.F : ● Cyan 500nm

LED  
搭載!



# RED SEA MAX<sup>®</sup> S-SERIES

究極のフルサイズ・コーラルリーフシステム



エレガンスと耐久性の融合



Wi-Fiを内蔵した最新鋭のLEDライティングシステム



MAX<sup>®</sup>Sの一体型パワーセンター

MAX<sup>®</sup>Sシリーズは、最新のサンゴ飼育テクノロジーが採用された、レッドシーリーフシステムのフラッグシップモデルです。REEF-SPEC<sup>®</sup>を完全準拠したMAX<sup>®</sup>Sシステムには、Wi-FiでコントロールできるHydra 26HDのLED照明やREEF-SPEC<sup>®</sup>フィルトレーションとサーキュレーションシステム、カスタマイズできる外見、1本のプラグに集約されるコントロールセンターなどが完備されています。

あなたは、サンゴ礁の生き物の美しさや素晴らしさを観賞することだけに集中することができます。もう器材の選択や適合性、互換性などに色々悩む心配はありません。

Red Sea MAX<sup>®</sup>Sシリーズでサンゴの飼育をもっと簡単に。



MAX-S 400



MAX-S 500



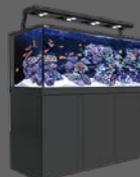
MAX-S 650



MAX-S 400



MAX-S 500



MAX-S 650



詳しくはウェブサイトをご覧ください：[www.redseafish.com/ja](http://www.redseafish.com/ja)



発行/株式会社 エムエムシー企画 レッドシー事業部 <http://www.mmclanning.com>

〒174-0063 東京都板橋区前野町6-29-4 E-mail: info@mmclanning.com

※写真は印刷のため実際の色とは多少異なります。仕様・パッケージは予告なく変更する場合があります。